

栃木市市民会議 会議要旨

会議名：市民会議自治基本条例部会（第5期 第5回）

日時：令和5年2月2日（木） 午後7時～午後8時30分

会場：市役所 402会議室

出席者数：7名、事務局：3名

1 開会

2 部会長あいさつ

3 議事

1 地域自治の検証についてのまとめ

《事務局より説明》

中間報告書案について了承。

2 栃木市自治基本条例の一部改正及び逐条解説書の改訂について【報告】

《事務局より説明》

【部会長より】

全体会で配布する資料は条例の新旧がわかるようにしてほしい。

3 意見交換

【委員からの意見・感想】

- ・ 中間報告書の総括は委員の皆さんの知恵の賜物であると思う。
- ・ 他の地域の皆さんの活動を知ることができたので良かった。
- ・ 地域会議とまちづくり実働組織の連携が不足していると感じている。また、地域会議の委員のレベルアップが必要だと思う。
- ・ 自分の地域は地域会議の活動が活発であるが、事務局の取りまとめが良いからだと思う。
- ・ 市民は自治基本条例のことを知らない人がほとんどであると思う。住民自治を市民に浸透させる必要がある。委員も市民もレベルアップする必要がある。
- ・ 自分の入っている実働組織は能力が高い人が多く、前向きである。それに比べて地域会議は能力の高まりがない。また、行政が一步引いている。地域会議はこれからも続けたほうがいいのか疑問である。
- ・ 地域会議は市長へ提言する機関であるという意識が委員にない。
- ・ 地域会議で検討する地域計画は自分の地域のことしかわからず、全体が見えてこない。
- ・ 美術館などの施設ができる場合、市民皆の問題であるので、全ての地域の地域会議で取り上げる必要がある。
- ・ 議員と地域会議委員の意見交換が必要である。

- ・市役所では若い職員の意見を取り上げるような制度はないのか。
【事務局より】以前は市長への提言の制度があったが、今は無い。
- ・地域会議で出たたくさんのアイデアは委員が変わるとリセットされてしまうのもったいない。
- ・ハードは作って終わりではない。ソフトでどう使うかが重要である。
- ・地域に必要な物品があった際に、他地域で余っているものを譲ってもらえたことがあった。地域間で情報交換をすることで解決することもある。

【部会長より】

部会の進め方として、半分は議題を話し合い、半分はざっくばらんに意見交換してはどうか。市民会議はルーティン化してしまっているため、委員からの意見を聞きながら進め方を工夫してほしい。

4 その他

2月21日に全体会で中間報告書を発表予定。

5 閉会